

幸田町で水田作経営と販売店舗に挑戦！ ～家族の力で経営発展～

幸田町 磯部幸一さん
水田作（水稲・小麦・大豆）

【平成30年2月22日掲載】

幸田町野場で水田作を営む株式会社のばライスセンター（以下「のばライスセンター」という。）代表取締役の磯部幸一さんを紹介합니다。のばライスセンターは、現在、経営面積85ha、構成員4名、常時雇用1名の規模で、地域の農地の担い手となっています。

野菜農家から水田作専門農家へ

磯部さんは、露地野菜生産と水稲の小規模受託を担う農家に生まれました。安城農林高校を卒業後、農業とは関係のない一般企業に就職しましたが農業に関心があり、地域の若手が施設野菜をやろうと誘ってくれたことがきっかけで、昭和50年、24歳のときに就農しました。制度資金を活用して連棟のハウスを建設し、イチゴなどを栽培し、傍らで水田の受託に取り組みました。

昭和55年ごろから周辺のは場整備が実施され、昭和56年にJAが作業受託部会を設立した同時に磯部さんも部会に加入しました。は場整備をきっかけに兼業農家からの依頼が増え、水田の受託面積が一気に20haとなりました。平成2年頃まで水田の受託とイチゴ生産の両方を担っていましたが、水稲だけでなく転作の麦や大豆の栽培の受託も地域から期待され始めたことをきっかけに、今後自分が進むべき道を検討し、水田作専門農家となることを決意しました。



磯部幸一さん

生産安定への取組

水稲、小麦、大豆のすべてにおいて生産安定を図るため、品種の選定、品種にあった栽培管理の習得・実践、新技術の導入などに積極的に取り組みました。また、規模拡大に伴って出てくる課題も解決しました。

特に水稲では、地域に水が十分になく、冬季の代かきができないことから、通水後に作業が集中し、面積拡大の妨げになるなど、作業上の大きな課題がありました。そのような状況の中、平成18年頃から、不耕起V溝直播栽培技術を地域でいち早く試し、2年後に本格導入しました。不耕起V溝直播栽培では、レーザーレベラーを利用し、冬季に均平、春季に鎮圧をかけ乾田は場を作り、播種を実施しています。導入当時は品種の適応性なども模索しましたが、現在は「あいちのかおりSBL」を作付けする12～15haでこの技術を導入し、作業の省力化と分散、さらには収量の向上も実現しています。



幸田町中部に広がるは場

販売店舗に挑戦！

磯部さんは、息子2人の就農をきっかけに平成22年に法人化し、のぼライスセンターを設立しました。法人化することで、これまでの家族経営の見直しや役割の明確化につながりました。

一方、当時幸田町では、農地の受託がある程度固定化されるようになり、のぼライスセンターの経営面積は頭うちで急激な増加は見込めない状況でした。限られた面積の中で収益をあげるためにはどうすべきか考えた際に、米の軒先販売が年々増えていることに着目しました。大通り沿いでも何でもない幸田町の事務所に、わざわざ名古屋から米を買いに来る顧客がいたことから、味への自信が付き、平成28年11月に米の販売店舗「平六」を立ち上げました。

米屋 兼 地域の直売所として

「平六」では、その場で顧客の好みに合わせて精米し販売しています。磯部さんが味にこだわって作った「あいちのかおり」、「コシヒカリ」、「ミルキークイーン」など6種類の米が並び、この中でも一番の人気は「あいちのかおり」です。さらに、長男の有哉さんが加入している幸田町若手農家グループのメンバーが生産する野菜や果樹も販売しています。それぞれが「平六」に納品にきてくれ、ニーズを把握する場として使ってもらっています。これら新鮮な青果物のおかげもあり、店の売上は堅調に伸びています。

米屋として顧客のニーズに合った商品を販売しつつ、さらに地域の直売所として発展できるよう、売り場拡張を視野に入れて取り組んでいます。



(上) 販売店舗の外観

(下) 米の販売の様子

家族の力で経営を発展していく

現在、磯部さんを含め4名が現場作業を担当し、妻が経理や事務を担い、娘と有哉さんの妻が中心となって販売店舗を運営しており、家族それぞれが責任を持って経営に取り組んでいます。

磯部さんは、家族との話し合いを重視しており、日々の作業はもちろん、水田作専業となる時、法人化する時、販売店舗を立ち上げる時、節目節目で話し合いをしてきました。来年度には有哉さんに代表取締役を譲り、磯部さんは現場作業など裏方に徹する予定で、この方針も家族にきちんと伝えていきます。地域の状況や時代の流れに合わせてどんどん変化しながらもその時々で家族で納得するまで話し合い、一緒に歩んできたからこそ、会社として良い方向へ発展していると感じました。



「平六」では、家族が書いた似顔絵の米袋で販売

執筆：農業経営課

取材協力：西三河農林水産事務所農業改良普及課